

きずな

第44号

2016年2月25日



今庄児童館で行った「新年百人一首かるた大会」に参加した子ども達と地域の方々です。

【発行】 ふれあいネットワーク



社会福祉
法人

南越前町社会福祉協議会



この広報紙は共同募金の配分金を受けています。

□南条本所 〒919-0227 福井県南条郡南越前町脇本17-38-1
TEL(0778)47-3767 FAX(0778)47-3768

□今庄支所 〒919-0131 福井県南条郡南越前町今庄86-5-2
TEL(0778)45-1175 FAX(0778)45-0183

□河野支所 〒915-1113 福井県南条郡南越前町甲楽城7-31-1
TEL(0778)48-2260 FAX(0778)48-7100

ホームページ <http://www.shakyo.or.jp/hp/828/>



平成27年度 赤い羽根共同募金・ 歳末たすけあい募金の結果報告



赤い羽根共同募金実績

戸別募金	2,610,036円
街頭募金	24,398円
職域募金	121,242円
法人募金	327,500円
自販機募金	33,295円
学校募金	62,813円
窓口募金	8,436円
合 計	3,187,720円

平成27年度の共同募金運動も町民の皆様、各事業所の皆様のご協力を得て、今年も大きな成果を上げることができました。

なお、赤い羽根共同募金は、募金実績から福井県共同募金会で示される目標額を差し引いた金額が翌年度に本町共同募金委員会へ助成されます。一方、歳末たすけあい募金は、募金実績額の全額が当年度に本町共同募金委員会へ助成され、いずれも地域の福祉活動を支える貴重な財源として充当されています。

歳末たすけあい募金実績

戸別募金	888,269円
個人・団体等	392,034円
合 計	1,280,303円

共同募金運動期間中、区長様をはじめ、婦人福祉協議会、ひまわり会、身体障害者連合会、母子寡婦福祉会、手話サークル「れんげ」、はす工房「花里音」の皆様にはお忙しい中、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

募金は、福井県共同募金委員会へ全額送金いたしました。

平成29年度福祉活動助成団体募集

南越前町共同募金委員会では、地域に根ざした福祉活動を支援するため、平成29年度福祉活動助成団体の募集を行います。

【助成対象】・町内で福祉の向上を目的とした事業、又は活動を行っている民間団体、ボランティア団体（グループ）

・小地域のネットワーク活動を推進している自治会

【助成金額】原則として1団体あたり5万円まで
【募集期間】平成28年3月31日（木）まで

共同募金委員会運営委員募集

共同募金活動の企画、実施、啓発、配分調整、助成審査等について、ご協力いただける運営委員を募集いたします。

【応募資格】町内在住の20歳以上の方
【募集人数】1名

【任 期】平成28年4月1日～

【応募方法】平成29年3月31日まで
所定の応募用紙に必要事項と、応募動機を記入し、南越前町共同募金委員会事務局へご提出ください。（詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。）

【募集期限】平成28年3月31日（木）まで

◎問合せ先

南越前町共同募金委員会事務局

南条事務所

今庄事務所

河野事務所

南条保健福祉センター内 47-13767

今庄福祉センター内 45-11175

河野保健福祉センター内 48-22600

共同募金助成金でこのような事業を行っています

高齢者福祉事業

- ・会食サービス事業
- ・高齢者料理教室事業
- ・地域ふれあいサロン事業

障がい者（児）福祉活動事業

- ・身体障がい者のつどい

母子・父子福祉活動事業

- ・一人親家庭のつどい
- ・母子寡婦のつどい

児童・青少年福祉事業

- ・一人親家庭中学卒業者激励事業

福祉教育・援助事業

- ・福祉団体スポーツ大会
- ・地域福祉推進校事業
- ・広報紙発行

ボランティア育成事業

- ・ボランティア育成講習会
- ・配食サービスボランティア
- ・ボランティア情報紙発行

歳末たすけあい助成金事業

- ・一人暮らし高齢者激励訪問事業
- ・一人暮らし高齢者年賀状発送事業
- ・生活困窮者緊急支援事業
- ・重度身体障がい者一日温泉療養事業
- ・花里音・ひまわり会交流会
- ・在宅介護者のつどい
- ・ひまわり会親子交流会
- ・身体障がい者寝具洗濯サービス事業

緊急災害援護配分金事業

- ・災害時見舞金支給事業

各種相談のご案内

● 無料法律相談 (13時～16時)

平成28年3月 8日(火)	今庄福祉センター
4月12日(火)	河野保健福祉センター
5月10日(火)	南条保健福祉センター

※事前予約が必要です。

● 婦人福祉協議会による結婚相談

(13時～15時)

※秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

南条保健福祉センター	第1、第3水曜日・第2日曜日
昭和会館(今庄地区)	第1、第3木曜日・第2日曜日
河野総合事務所	第1、第3木曜日



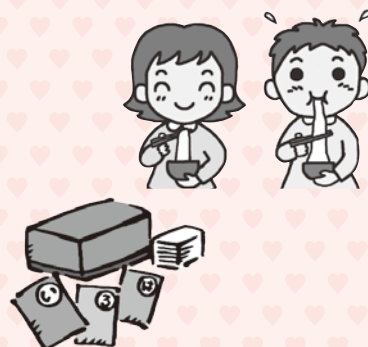
● 今庄児童館 ●

「新年かるた会」
お正月明けの冬休みに、地域の方を招いて百人一首かるた大会を行いました。
子ども達は、暗記している札や好きな絵柄の札を取ろうと耳を澄まし、真剣な表情をしていました。
その後、お正月遊びの二人羽織でおやつを食べることに挑戦し、うまく口に入らない姿に皆で大笑いし、最後には美味しくお雑煮を食べ行事を終えました。



● 南条児童館 ●

「百人一首あそび」
南条児童館では、昔ながらの百人一首を広げて遊んでいます。読み手の声に誘われるように、1人、2人と取り手が増え、百人一首を囲うように子ども達の大きな輪ができています。
今後も児童館活動を通して築き上げられる、子ども達の「友達の輪」を大切に守っていきたいと思います。



● 河野子育て支援センター ●

「ふれあい遊び」
健康運動指導士の先生をお招きし、親子ふれあい遊びを行いました。
大きなタオルの下をトンネルに見立て、子どもとお母さんが一緒に潜って遊びました。少しの工夫を凝らすことで、楽しい遊びを先生からたくさん教わり、充実した時間となりました。



● 河野児童館 ●

「ボンボンマスコットを作ったよ」
毛糸でマスコット作りを行いました。
子ども達は、うさぎや様々なキャラクターを器用に作り上げていました。「家に飾る」、「お母さんにプレゼントする」といった声も聞かれ、子ども達は思い思いのマスコットの出来栄に大満足している様子でした。



● 湯尾児童館 ●

「年末お楽しみ会」
湯尾地区老人会の方々と一緒に、こも編み体験と餅つきを行いました。
こも編みは毎年行っていることもあり、子ども達は慣れた手つきで藁を編み上げていました。一方で杵と臼を使った餅つきは、初めて経験する子どもも多く、興味津々でした。つきたての餅を食べ「いつも食べているお餅より美味しい!」と嬉しそうに話していました。

地域ふれあいサロン探訪
河野地区 大谷区

大谷区のサロンでは、最初にラジオ体操第1・第2を行って、参加者の健康づくりに心掛けています。



この日は、福井県健康管理協会の講師をお招きし、足裏マッサージを教わりました。足裏を刺激すると体の全身がぽかぽかと温かくなり、大変好評でした。

また、年に複数回カラオケ大会を実施し、元気に明るく楽しいサロンを開いています。

善意のご寄付
ありがとうございました

平成27年11月20日から平成28年2月19日までに福祉に役立てて下さいとご寄付いただきました。

ご寄付の趣旨に添い、有効に運用してまいります。

【社会福祉基金へ】

南条マジック愛好会様

匿名

【デイサービス事業へ】

匿名

1件 2件

ふくし行事予定

●南条本所

配食サービス

3月8日(火) Vr. コスモス

会食サービス

3月23日(水) Vr. 母子寡婦福祉会
Vr. どんぶしクラブ

●今庄支所

配食サービス

3月24日(木) Vr. 個人

4月26日(火) Vr. 個人

5月26日(木) Vr. 個人

●高齢者料理教室

4月20日(水) Vr. 婦人福祉協議会

5月19日(木) Vr. 民生児童委員協議会

●河野支所

配食サービス

3月11日(金) Vr. 赤十字奉仕団

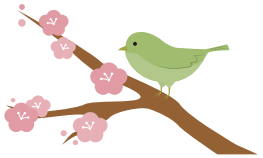
4月8日(金) Vr. 赤十字奉仕団

5月9日(月) Vr. 赤十字奉仕団

●高齢者料理教室

4月22日(金)

5月24日(火)



社協のPR

地域見守りネットワーク
の形成を目指して

社会福祉協議会では、援助を必要とする人を含めた、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「仕組みづくり」の構築を目指しています。その一つとして「地域見守りネットワーク」があります。

地域で援助を必要とする人へ関係者や組織がそれぞれの支援を行い、援助を必要とする人を支えます。また、支援者の横の繋がりをづくり、地域全体での助け合いを進めます。

地域見守りネットワーク



※矢印は見守り活動や相談、訪問、保健、福祉サービスを示します。

編集後記

今年は降雪日が少なく、「雪がないと楽や、でも何か寂しいの」と、皆様のお声をよく耳にしました。

先日、新聞に2015年に実施された国勢調査の速報値が掲載されていました。そこには、世帯数は増えているものの一世帯当たりの人員が2.82人で過去最少を更新し、核家族化の進展を裏付ける結果が掲載されていました。

核家族は家庭内の自由も利き、一見「楽」に感じますが、同世帯の家族が少ないことは、何か寂しい「こと」かもしれません。

家族や地域の在り方を考えることは、私たちの使命であり、より一層業務に精進したいと思います。

(米野)

送迎車両が
新しくなりました

日本財団の助成を受け、河野デイサービスセンターに車両を整備しました。

これまで以上にデイサービス利用者が送迎時、快適に過ごしていただけるよう、大切に使用いたします。

